



亀山 春夫 議員(政友みらい)

質問方式
一問一答

佐野市民の健康増進
について

Q 未病からの検診が特に重要であり、JAとの連携によりさらなる受診率向上を図るべきと考える。

健康は、全ての市民が生涯を通じて生き生きと暮らすための基本であり、健診会場を従前のように地域の公民館やコミュニティ等の市民に身近なところで実施できるよう利便性を考慮すべきと考えるが、市の見解は。

A 健康医療部長

地域での声がけは、受診のきっかけとなり、受診率向上に効果的ですので、今後ともJAへ協力をお願いしていきたいと考えています。

また、現在、受診率向上のため、実施時期や時間の検討に合わせて特定健康診査受診率の低い地域で集団健診を実施できる場所はないか検討しているところです。今後も受診される方の利便性を考慮し、健診会場については検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆過疎地の高齢者交通手段について



木村 久雄 議員(公明党議員会)

質問方式
一問一答

健康増進対策に
ついて

Q 日本の乳がん発生率は、女性12人に1人であるが、早期に発見すれば90%の割合で治るがんと言われている。また、新聞でも3年生存率が95%以上という報道もあった。

埼玉県朝霞市や東京都目黒区などで乳房自己検査補助用具である※ブレストケアクラブを導入し、乳がんの早期発見を推進しているが、本市でも同様に導入することで検診の受診率の向上を図ることが可能と考えるが、市の見解は。

A 健康医療部長

乳がんの自己チェックがしやすくなる自己検診補助用具の導入について、素手よりもしこりなどの症状を見つけやすくなるという利点がうたわれていますが、コスト面や皮膚疾患等で使用できない方もいることを考慮しながら、導入については研究していきたいと考えています。

その他の質問

☆災害対策について

※ブレストケアクラブ・・・

乳がん自己検診補助グローブのこと。グローブをはめて触診を行うと、素手より触感の感覚が高まり、異常を感じやすくなる。



田所 良夫 議員(新風)

質問方式
一問一答

観光立市について

Q 本年2月議会の一般質問の答弁で、「今後は天徳寺宝衍の認知度を高めるとともに、大河ドラマ等の誘致も含め、周知活動を検討していきたい。」とあったが、その後の進捗状況を伺いたい。

A 観光スポーツ部長

大河ドラマ誘致に関する広域的な協議会が全国各地に多数設置され、誰もが知る歴史上の人物を大河ドラマにしようとする動きが活発に行われていますが、最終的には、NHKによる市場調査や、その時代背景と現代の社会情勢との一致、脚本家の興味など様々な要素により決定するようです。

現状、天徳寺宝衍に関しては、まずは史実をしつかりと捉え、組織的かつ計画的に素材の魅力度と認知度を高めるための手段を講じることが重要であり、大河ドラマはその延長線上にある究極のゴールであると考えています。



▲唐沢山城イメージ図